

4年間の任期を振り返って

11月12日をもって、議員の任期が満了となります。そこで、任期を振り返り、各会派からのメッセージをお届けします。

葛飾区議会公明党

葛飾区議会公明党は、生活者の目線から区民本位の区政を実現するために、本会議や委員会などを通じ、建設的な提案を積極的に行ってきました。行財政改革を進めるとともに、区民サービスを充実するために必要な財源の確保にも責任を持ち、着実に葛飾区政を充実させてきました。

一時保育を拡充しました。学童保育クラブも25年4月には78か所に拡大しました。3人乗り自転車助成も実現しました。

小中一貫校として新小岩学園、高砂けやき学園を開校しました。区立小中学校に通学する3人目の給食費の無料化を実現しました。学力向上をめざし、東京理科大学や都立高校と区立小中学校との連携による科学教室や進学重点教室をスタートさせました。

予防接種助成では、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんの各ワクチンを定期接種化しました。介護予防も推進、うんどう教室事業やプラチナ・フィッ トネス事業も開始しました。

この4年間の振り返ってみると、保健福祉分野では、病院の誘致を推進しました。妊婦健康診査は平成22年度には里帰り出産にも助成し、23年度には年齢制限を撤廃しました。特定不妊治療費助成では、平成25年度から助成額を年10万円から15万円に拡大しました。保育待機児童ゼロの取り組みも毎年定員数を拡大してきました。認証保育所保育料の助成制度、夜間保育を創設し、

予防接種助成では、ヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がんの各ワクチンを定期接種化しました。介護予防も推進、うんどう教室事業やプラチナ・フィッ トネス事業も開始しました。街づくりと産業では、防災減災のため、公共施設の耐震化を進めるとともに耐震診断・改修助成を拡充しました。防災活動拠点を増設しました。液状化対策、電柱への水深マークの標示も行いました。道路の地中空洞化対策を進

めしました。駅周辺の駐輪場の整備を進めました。中小企業融資では、債務一本化、不況対策資金融資の拡充を図りました。こち亀・キャブテン翼の銅像、フィルムコミッションなど、「かつしか観光プラン」を推進し、東京理科大学との産学公の連携を進めました。

自由民主党議員団

平素から、自由民主党議員団にお寄せいただいております皆様のご支援に對して、心から感謝申し上げます。

わが党議員団は、区政の推進にあたって常に区民の目線に立ち、多様化する区民ニーズを的確に把握し、それを区政に反映させるため、活発に活動を展開し、その実現に最大限努力してまいりました。

この4年間の振り返ると、まず思い起こされるのは、東日本大震災の発生です。東日本の広範囲に甚大な被害を及ぼし、また葛飾区内にも被害をもたらしたこの震災は、私たちに多くの経験と教訓を与えました。

区はこの教訓をふまえ、早い段階か

ら補正予算を編成し、迅速に災害対策の強化を図ってきました。こうした区民の取り組みに対し、わが党議員団は強力な支持・支援をするとともに、木造住宅の耐震化の推進や災害医療体制の見直しなど、青木区長と共に進めてまいりました。

また4年前誘致した東京理科大学が、今年4月、葛飾キャンパスをオープンさせましたが、これに合わせて、大学図書館内に科学教育センターを、大学隣接敷地に葛飾にいじゅくみらい公園を、それぞれ整備することができ、地域の活性化や教育環境の充実を大きく進めることができました。

さらに今年度からスタートさせた新しい基本計画の中では、「子育て環境の充実」「かつしか学力向上プラン」「区内医療環境の充実」「減災協働プ

ロジエクト」「魅力ある観光まちづくり」「花いっぱいのもちづくり」「再生可能エネルギーの創出」などといった重点的かつ戦略的に取り組むべき事業やテーマを、「11の重要プロジェクト」としてまとめられています。この計画を、区民との協働により推進し、「夢と誇りあるふるさと葛飾」の実現に向け、青木区長と力を合わせて、着実に取り組みを進めてまいります。

この間、円は適正とされる水準を回復し、株価も低迷から脱し、去る9月には東京オリンピック・パラリンピック開催も決定され、わが国は、長く続いた不況から脱しようとしております。しかしながら、中小零細企業が多い本区には、いまだその波及効果が到達し

地域政党 葛飾

「是は是、否は否」を徹底的に貫いてきた4年間でした。区政では追認機関ではなく、区民皆様の立場から、良いものは更に良く、悪いものは徹底して改善させる姿勢をふれることなく進めてまいりました。一方、この4年間の最大の出来事とは、やはり東日本大震災です。我々は50回を超える支援活

日本共産党葛飾区議会議員団

東日本大震災は、国民の命と暮らしをどうやって守っていくのか、国と自治体のあり方を問い続けています。わが党は、区民アンケートを2年に1回実施していますが、震災後には、6割の方が生活が苦しいと回答を寄せられました。

また区政への要望では、高齢者福祉、医療、防災、子育て支援がもっとも高く、同じ傾向が続いています。

民主党 葛飾

区民の皆様には今期4年間の任期中、私たち民主党葛飾の活動に對しまして、変わらぬご支援・ご厚情を賜り心から感謝申し上げます。

私たちは常に区民目線に立ち、是非々の立場で政策提言することを心がけ、実践してまいりました。そして、リーマンショック以降の厳しい経済・財政状況のなか、限られた財源を効率

こうした要望を区政に反映し、要求実現にがんばってきました。住宅耐震化のための耐震診断の無料化、改修助成額は制度創設時から3倍強に拡充しました。中小企業融資も改善されました。高齢者紙おむつ支給助成の改善、特別養護老人ホームの増設も2カ所、今後4年間であと3カ所の増設計画を作らせました。認可保育園や学童保育クラブの増設、学校給食の無償化も「無償化の考えはない」という区の姿勢を変えさせ、一部ですが実現することができました。しかし、決

この4年間の政策では震災の教訓を踏まえ、危機管理担当の部長を設置したことは喜ばしい。今後は「福祉・医療・保健所」の窓口一本化、「子育て・子ども福祉・教育」の一本化、区内を走るバスの乗継ぎの利便性向上、駅前

的に配分・執行し行政サービスの向上に努めてきました。また、東日本大震災以降、危機管理の在り方や自助・共助・公助といった視点を様々な施策へと取り入れ、区民の皆様の生命・財産を守ることに、重点的に取り組んでまいりました。

この4年間の政策では震災の教訓を踏まえ、危機管理担当の部長を設置したことは喜ばしい。今後は「福祉・医療・保健所」の窓口一本化、「子育て・子ども福祉・教育」の一本化、区内を走るバスの乗継ぎの利便性向上、駅前

無所属 (※1)

この4年間の政策では震災の教訓を踏まえ、危機管理担当の部長を設置したことは喜ばしい。今後は「福祉・医療・保健所」の窓口一本化、「子育て・子ども福祉・教育」の一本化、区内を走るバスの乗継ぎの利便性向上、駅前

無所属 (※2)

この4年間の政策では震災の教訓を踏まえ、危機管理担当の部長を設置したことは喜ばしい。今後は「福祉・医療・保健所」の窓口一本化、「子育て・子ども福祉・教育」の一本化、区内を走るバスの乗継ぎの利便性向上、駅前